

10 記者発表・新聞記事

記者発表

- ・宇宙総合学研究ユニット・共同研究部門「宇宙総合学研究部門」の発足について
1月16日
- ・花山天文台特別公開と喜多郎さん野外コンサート
8月21日
- ・第3回宇宙落語会について
11月8日

新聞記事

宇宙総合学研究ユニット関連記事

- 1月17日 朝日新聞 京大 産学で宇宙研究 太陽活動の影響「天気予報」目指す
- 1月17日 京都新聞 宇宙・地球観測に新部門 京大 産学で研究 防災活用へ
- 1月29日 京都新聞 なぜ宇宙へ行く？ シンポで考えよう
- 2月26日 産経新聞 宇宙総合学研究ユニットには新部門

NPO 法人花山星空ネットワーク観望会など

- 4月 3日 京都新聞 京大花山天文台で月と木星の観望会
- 4月 4日 朝日新聞 花山天体観望会「月と木星」
- 4月27日 京都新聞 土星と月 神秘の輝き 京大天文台で来月18日観望会
- 5月 2日 朝日新聞 花山天体観望会「土星と月」
- 6月26日 京都新聞 飛騨の天文台で天体と自然観察
- 6月26日 毎日新聞 京大飛騨天文台で観測
- 7月 7日 京都新聞 夏休みの夜空 土星の輪観察を
- 9月 4日 毎日新聞 京大飛騨天文台ツアー 参加者募集
- 10月18日 京都新聞 プロミネンスや黒点を見てみよう

宇宙落語

- 6月11日 朝日新聞 こころをつかむ雑談力 大学も注目 落語家が講師
- 11月 8日 KBS 京都ニュース 宇宙落語
- 11月 9日 産経新聞(*) 京大で宇宙題材にした創作落語
- 11月19日 京都新聞 宇宙ネタ落語で笑って 京大で30日
- 11月19日 読売新聞 宇宙旅行の夢一席
- 12月 1日 京都新聞 京日記(宇宙落語当日の様子)
- 12月 3日 京都民報 宇宙研究の最新成果活かして落語会 京都大学で3回目

花山天文台特別公開ウィーク

- 8月22日 京都新聞(*) 花山天文台を特別公開
- 8月24日 朝日新聞 中秋の名月 大望遠鏡で 京大・花山天文台を公開
- 8月26日 読売新聞 花山天文台を来月公開

飛騨天文台特別イベント「わくわく宇宙と太陽の日」

- 11月20日 岐阜新聞(*) 望遠鏡で太陽観察 京大飛騨天文台特別イベント
- 11月21日 神岡ニュース(*) NASA 元宇宙飛行士 ローレン・アクトン氏講演

その他

- 2月 4日 産経新聞(*) 京人 柴田一成さん
- 5月12日 京都新聞(丹波) 「宇宙 爆発だらけ」京大教授、奥深さ語る
- 7月15日 河内新聞 「宇宙のなかにある地球」寝屋川市
- 9月13日 京都新聞 京-天と地と人(20) 日本最古の現役天体望遠鏡
- 10月 4日 岐阜新聞 神岡小児童6年生 京大飛騨天文台を見学
- 10月16日 京都新聞 洛中洛外(天文学街道の紹介)
- 10月21日 北海道新聞 IPCC第5次報告書を考える(上) 太陽の影響検討が必要
- 11月30日 岐阜新聞 アイソン彗星'消滅'

イベント情報掲載、新聞広告

- 5月29日 朝日新聞 京都大学の広告(太陽型星のスーパーフレア第1発見者に)
- 6月13日 朝日新聞 銀河の旅へ 親子で楽しむ大宇宙
(朝日カルチャーセンター講座紹介)
- 10月18日 京都新聞 10月26日アストロトーク
- 10月19日 京都新聞 11月2日天文学街道 明月記コース
- 10月26日 京都新聞 11月10日天文学街道 信長と天変コース
- 11月13日 京都新聞 11月23日天文学街道 花山もみじコース
及び11月30日花山天文台コース
- 11月22日 京都新聞 12月1日天文学街道 神楽岡コース
及び12月8日信長と天変コース
- 12月 4日 京都新聞 12月21日天文学街道 暦合戦コース

(*) の記事についての切り抜き¹、観望会などイベントポスターを 60~65 ページに掲載。

¹この報告で使用されている新聞記事及び写真は著作権者(新聞社、写真提供者等)から許諾を得て転載しています。これらの記事が無断で複製、送信、出版、頒布、翻訳、翻案する等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

ニュース

花山天文台が京都市の「京都を彩る建物や庭園」に選定

2013年1月31日(木)、花山天文台が、京都市の「京都を彩る建物や庭園」に選定された。同制度は、京都の財産として残したいと思う京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園を、市民からの公募によりリスト化・公表し、市民ぐるみで残そうという気運を高めるとともに、様々な活用を進めることなどにより維持・継承を図るものである。

京都市では、市民の方々から推薦のあった建物や庭園について審査が行われ、新たに41件が選定されたが、そのうちの一つである。「昭和4年(1929年)の創立以来、世界の天文学研究をリードしてきた。山科盆地から北西を望むと、東山に銀色のドームが2つ並び、多くの市民から親しまれている。」が今回の選定理由である。

「京都を彩る建物や庭園」HP

<http://www.city.kyoto.jp/irodoru/irodoru.html>

上記HP内の花山天文台のページ

<http://www.city.kyoto.jp/irodoru/yamashina/kyoutodaigaku-kazantenmondai.html>

京大広報

No. 687

2013.3



京都市の“京都を彩る建物や庭園”
に選定された
理学研究科附属花山天文台
—関連記事 本文3871ページ—

京大広報

2013.3 No. 687

部局の動き

理学研究科附属花山天文台が京都市の“京都を彩る建物や庭園”に選定

1月31日(木)、理学研究科附属花山天文台が、京都市の“京都を彩る建物や庭園”に選定された。

同制度は、京都の財産として残したいと思う京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園を、市民からの公募によりリスト化・公表し、市民ぐるみで残そうという気運を高めるとともに、様々な活用を進めることなどにより維持・継承を図るものである。

80年の歴史を持つ附属花山天文台は、現在太陽観測とデータ解析および理論数値シミュレーション研究を中心に、大学院学生と学部学生の教育実習施設としての重要な役割を担っている。近年では、近隣の高校生の実習など、外部の教育機関と連携して様々な教育普及活動にも積極的に関わっている。

京都市では、市民の方々から推薦のあった建物や

庭園について審査が行われ、新たに41件が選定されたが、そのうちのひとつである。「昭和4年(1929年)の創立以

来、世界の天文学研究をリードしてきた。山科盆地から北西を望むと、東山に銀色のドームが2つ並び、多くの市民から親しまれている。」が今回の選定理由である。



附属花山天文台外観

(大学院理学研究科)

主催：京都大学大学院理学研究科附属花山天文台・NPO花山星空ネットワーク

主催：京都大学大学院理学研究科附属花山天文台・NPO花山星空ネットワーク

主催：京都大学大学院理学研究科附属花山天文台・NPO花山星空ネットワーク

© 2015 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or by any information storage or retrieval system, without prior written permission from Pearson Education, Inc. or its affiliate(s).

主催：京都大学大学院理学研究科附属花山天文台・NPO花山星空ネットワーク

※までの交通費は含まれていません。
